

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2021年3月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで58年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2021年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年3月度ギャラクシー賞月間賞

NHKスペシャル「イナサ～風寄せる大地 16年の記録～」

3月8日放送 22:00～23:00 日本放送協会

震災前、震災直後、そして震災10年。その16年間にわたる取材と3回にわたる番組制作の積み重ねは、他の震災10年番組にはない伝達力と分析力を持った。津波で失われたもの、引き継ぎ続けたもの、その実像と実相をこれほどまでに伝える番組はほかにはないといえる。

よるドラ「ここは今から倫理です。」

1月16日～3月13日放送 23:30～23:59 日本放送協会

高校の自由科目「倫理」の教室。世慣れせず、倫理的基軸で考え、生きる担当教員高柳のキャラクターも相まって、生徒個々が意識化・言語化できなかった問題を自分で考え、向き合う。いわゆる学校ものの範疇を超え、「倫理」ってこういう科目だったのかと初めて実感した。

オトナの土ドラ「その女、ジルバ」

1月9日～3月13日放送 23:40～24:35 東海テレビ放送 テレパック

女性の分岐点である40歳のリアルと「きっといいことが起こる店」のファンタジーが響き合っ起こる人肌の奇跡。歴戦の高齢ホステスたちの人生に触れた主人公の再生物語を池脇千鶴がノーメイクの体当たりで演じ、「女は40から」のありふれたスローガンが実感となってキラキラと手に残る。脚本、演出、俳優の志が詰まった快作。

金曜ドラマ「俺の家の話」

1月22日～3月26日放送 22:00～22:54 TBSテレビ TBSスパークル

介護という現代的問題を正面から取り上げながら、完成度の高い王道のホームドラマに仕上げた脚本家・宮藤官九郎の手腕を高く評価。物語を支える俳優の演技もみな素晴らしく、惹きつけられた。特に能とプロレス、静と動という合わせ鏡のような関係にある父子を演じた西田敏行と長瀬智也には拍手を送る。

★詳細は月刊誌「GALAC」2021年6月号に掲載します